



2012.1.1

vol.58

発行元：西宮渡辺病院

〒662-0863 西宮市室川町10番22号

TEL:0798(74)2630 FAX:0798(74)7257

ホームページ <http://www.n-watanabe-hosp.jp/>

### あけましておめでとうございます



社会医療法人 渡邊高記念会  
理事長 佐々木 恭子



昨年は多難の年、地震、津波、各地で起きた水害、原発の放射能漏れ・・・数々の苦難に見舞われた1年でした。今年こそは幸多き一年でありますようにと願います。

消費税率の引き上げ、年金制度改革、医療、介護保険の同時改定、今年も早々より私達の生活を直撃する多難な幕開けです。皆様と共に、皆様に求められる医療の提供者でありたいと願う私共が、夢を持ち、未来を信じて新しい年を迎えられたのは、皆様のご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

様々な不安が渦巻く昨今です。この不安を払拭する唯一の方策は夢を持ち未来を信じて前進することであろうと思います。私共の今年の幕開けは

西宮市で初めてとなる **地域密着型小規模特養『シルバートピア西宮』**のオープンです。昨年の訪問リハビリの再開に続き、今年1月より『**西宮渡辺ヘルパーステーション**』もスタートします。

今年はまだ一度原点に帰り、急性期医療の充実と共にそれに続く慢性期医療、検診から治療、回復維持に至る医療の継続性について見直したいと思っています。きめ細かなサービスの向上が皆様のお役に立ちますようにと・・・そして皆様のお一人お一人のお気持ちに添った私共でありますようにと・・・今年もよろしくお願い致します。



社会医療法人 渡邊高記念会 名誉理事長  
社会福祉法人 高明会 理事長  
渡邊 高



昨年、医療・介護・福祉をはじめとした地域医療連携のさらなる強化を目指し、地域密着にした寄り添う医療、福祉活動が展開された年でした。

いよいよ平成24年1月より、社会福祉法人 高明会 地域密着型特別養護老人ホーム『シルバートピア西宮』も発足いたしました。

「言うは易く行は難し」と言われますが、本年

も「言行一致」を常に念頭に、医療・介護、福祉事業に、一歩二歩と力強い足取りで歩いていきたいと考えております。そして、佐々木理事長により本年展開されていく創造性豊かで、明るくて優しい医療・福祉計画を、地域の皆様にご支援頂けることを願っております。



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い致します。



西宮渡辺病院

副理事長 佐々木 健陽



昨年は東北大震災という大きな災害が起きました。それまでは阪神大震災の被災者として直面した多くの難題を脇目もふらず一つずつこつこつとこなしてきました。ようやく立ち直ろうとした時に、再度あのような悲惨な災害が起きました。しかし、今回は当事者ではなく傍観者でした。いたたまれない気持ちでどうすればいいのかと焦る気持ちもありましたが、結局は自分のできることを粛々とこなすことが大事だと思いました。

本年はこの気持ちを忘れずに誠実な医療を進めたいと思っています。

今年は平穏でありますように。



西宮渡辺病院

副院長 槌田 昌平



「備えあれば憂いなし」とは言いますが、昨年の大震災、原発事故のような予想外の未曾有の災害の前には為す術もありません。人間の体に起こる出来事(病気)も同じことが言えます。重大な病気も忘れた頃にやってきます。予防には日頃の備え(食事、運動などの生活習慣の改善)が大切です。病院は病気の治療だけでなく予防の手助けをするところです。今年一年も元気で過ごせるように自分の体は自分で守りましょう。



西宮渡辺心臓・血管センター

院長 吉川 純一



新しい年を迎え、本センターをさらに充実・発展させることを、しっかりと心に刻み込んでおります。

センターの発展のためには、スタッフの充実が最低必要条件ですが、内科医が9人、外科医が2人の比較的しっかりとした体制が整うことになりました。さらに、コメディカルの充実も進めていきたいと思っております。これらのスタッフがチーム医療を積極的に行うことにより、患者さんに愛される病院に育てていきたいと思っております。「日本に西宮渡辺心臓・血管センターあり」と人々に言われ、患者さんに心から信頼されるようになるのが、最終目標です。

どうか今年もよろしく申し上げます。

西宮渡辺病院

院長 蓮池 康徳



去年は災害が猛威をふるい、皆様には身体的、精神的傷を受けられたと思います。今年が良い年になるよう祈願しております。

昨年、当院は日本病院機能評価機構による病院機能評価の認定を受けました。これを機に、今年も地域医療に邁進して行く覚悟です。私が就任して早2年、この地に植えた我が家のラベンダーの種がやっと香りを放つほど成長いたしました。病院の運営も地道に水をやっていれば、いつか花が咲くと確信しております。医師不足、看護師不足が重くのしかかりますが、持てる力をフルに生かして、頑張りますのでご支援のほどよろしくお願い致します。



西宮渡辺病院

看護部長 南口 恵子



昨年7月1日に着任し、看護部の運営を行ってきました。看護部も、看護師・助手を含めスタッフの充実もしてきております。少しずつ患者様のニーズに合わせた看護ができるようになってきていますが、今年度は更なる看護の質の向上を図り、患者様の気持ちを尊重し、「寄り添える看護」が提供できるよう、一人一人の看護師の看護実践力の向上を目指して、取り組んでいくつもりでおります。今年も宜しくお願い致します。



西宮渡辺心臓・血管センター

看護部長 武田 恵美子



当センターにとっての昨年は、医師や看護師など職員の数が増えたことやベッド数の増床によって大きく飛躍の年になれたと思えます。心臓・血管センターの標榜は、専門性の高い先生たちの集まりによって病院機能も大きく拡がりました。

今年は知名度をさらに高めるために、チーム医療の集団力を発揮できる病院作りに励みます。





## 心臓ドックについて

西宮渡辺心臓・血管センター  
循環器内科 岡島 一恵

高齢化と生活習慣の欧米化により、日本では循環器の病気をわずらう患者さんの数が増加し続けています。

循環器の病気は虚血性心疾患（心筋梗塞症や狭心症）、不整脈、弁膜症など、さらにそれらによっておこる心不全など多彩です。胸痛や動悸、息切れなどの症状が特徴的ですが、無症状のかたもおられます。また循環器の病気には大動脈瘤や下肢静脈血栓症（エコノミー症候群）、下肢動脈閉塞症など、心臓以外の血管疾患も含まれます。いずれも放置しておくとも生命にかかわる病態をまねいたり、また円満な日常生活が妨げられることが多く、予防と発見がとても重要になります。

心疾患に関しては当院では従来採血、レント

ゲン、心電図検査にくわえ、様々な心臓病を総合的に評価できる心臓超音波検査、また虚血性心疾患の診断に有用な冠動脈CTを外来で行っています。その他動脈硬化の進行や血管疾患を評価する血圧脈波検査、血管超音波も行っています。いずれも非侵襲的な検査で、循環器医が診察のうえ、結果を総合的に評価します。

胸痛、息切れ、動悸などの胸部症状の気になる方、または心血管疾患の原因となる生活習慣病（高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満）をおもちになっている方の受診がすすめられます。また、症状のない方も当センターにて心臓ドックも行っておりますので、ご相談下さい。

## ～西宮渡辺ヘルパーステーションの開設～

訪問看護ステーションむろかわ 桐石 梢

平成24年1月15日に、訪問介護のステーション『西宮渡辺ヘルパーステーション』がオープンします。すでに社会医療法人渡邊高記念会の在宅部門では、『訪問看護ステーションむろかわ』、『居宅介護支援事業所むろかわ』（ケアプランの作成）が地域で実践活動をしております。医療と介護のコラボレーションがますます重要視されている時代、訪問看護（訪問看護師）と訪問リハビリ（理学療法士）の連携で、介護予防や利用者の自立支援に取り組んでいましたが、さらに介護の専門職が加わることにより、利用者の一層のQOLの向上が図られます。医療的な看護ケアも大切ですが、介護の専門性とは、様々な日常生活でお困りごとの生活課題に対して、買い物、料理、掃除など家事

の援助、身体介護では清拭、おむつ交換、排泄介助などにプロとしての対応をいたします。近未来に24時間体制を進めてゆき、看取りのケアを始めます。利用者の状態変化時には西宮渡辺病院が後方支援にあり、安心して療養生活が送れます。住みなれたご自宅で、自分らしい豊かな生活が生涯送れるように、ケアマネージャー、看護師、ヘルパーが三位一体となり誠心誠意支え続けてゆきます。また一人ひとりのご希望に応じて、特養シルバートピア、老健ハートケアおよびデイケア等との連携などにもフレキシブルに対応いたします。ヘルパーステーションをどうぞ宜しくお願い致します。



## 医師着任紹介



西宮渡辺病院 内科 小林 亜有

11月より内科の外来診療を行なっております。専門分野は膠原病内科で、大阪や神奈川の病院で診療を行なっておりましたが、こちらの病院では一般内科として診療しております。

患者様の症状だけでなく、病気に関する不安や疑問もとり除けるような医療を目指しておりますので、遠慮なさらずに色々ご相談ください。



## CTC 検査(CT を用いた大腸検査)について

西宮渡辺病院 内科 本郷 俊樹

コンピューターのヴァーチャル画像の進歩のおかげで、従来の注腸検査、大腸内視鏡検査に比較してはるかに楽な方法で、大腸検査が出来るようになりました。

糞便等の画像をコンピューター画像の構築の際に飛ばすことが出来るため、厳格な糞便処理が必要でなくなったのです。検査前日の食事制限と下剤の服用だけでよく、これまでのように2リットルの大量の水を飲むする必要はなくなりました。手技は簡便で、チューブを直腸内に留置し、炭酸ガスを注入し、腸管を拡張させ、腹部CTを撮影したあと、コンピューターにて、画像構築を行います。検査時における苦痛は、従来の方法より極めて少ないです。

しかし、大腸内視鏡検査のように、じかに病変を観察し、組織採取をすることはできませんので、確定診断をするまでにいたりません。CTC 検査でポリープ、癌等の病巣が疑われた場合、速やかに内視鏡検査をする必要があります。スクリーニングを前提とした検査ですが是非ご利用下さい。

### 全日本病院学会にて研究発表を行いました

西宮渡辺病院  
2 病棟看護師 石関 美津子

昨年10月30日～31日に第53回全日本病院学会が沖縄において開催され、研究発表の機会を得ました。参加数2500人を超え、コメディカル、リハビリ、介護、看護など多くの医療関係者の参加があり、発表演題数も1100題を超えており、各病院・各部署での取り組み、課題について興味深い発表を傍聴することが出来ました。

その中で、今回私は看護の分野から「安全なベッド環境の統一化を目指して～安全管理表の導入を試みて～」という研究発表をしました。患者様の安全対策をスタッフが共有できる図式をベッドサイドに掲示したことで、転倒の件数は減少しています。



今後も安心して入院をしていただけるよう研鑽していきたいと考えています。

### 『睡眠時無呼吸症候群』ご注意

神戸新聞に当院医師の対談が掲載されました！

去る平成23年11月26日、神戸新聞朝刊に当センター院長吉川医師と循環器内科部長民田医師の対談が掲載されました。

『睡眠時無呼吸症候群』は睡眠中に呼吸が何度も止まる睡眠障害で、日中眠たくなって集中力をなくしてしまうだけでなく、放っておくと高血圧や糖尿病、心筋梗塞などの合併症を引き起こすこともあります。検査方法は簡単で治療方法も確立されている病気です。症状が気になる方は早めの受診が肝心です。

当センターでは睡眠時無呼吸外来を行っておりますので、ご相談下さい。

#### お問い合わせ

西宮渡辺心臓・血管センター 0798-36-1880



### 看護師募集

西宮渡辺病院、西宮渡辺心臓・血管センターでは看護師を募集しております。常勤勤務・パート勤務などご相談に応じます。まずはご連絡下さい。

0798-74-1771 採用担当 松山

むろかわ News に対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。

※ 当院各階詰所・1F 出入口に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。

編集  
広報委員会